

# 新たな県産種雄牛「<sup>さきりく</sup>幸紀陸」及び「<sup>みかつき</sup>美勝喜」の能力と特長

山形県農業総合研究センター畜産研究所

## 研究のねらい

「総称山形牛」のブランド力の向上と県内肉用牛経営の安定化を図るため、遺伝的に優れた能力を持つ雄牛と雌牛を交配して生まれた雄子牛の中から、高い評価の枝肉生産が期待できる新たな県産種雄牛「幸紀陸」及び「美勝喜」を選抜した。

## 研究の成果

- ① 「幸紀陸」と「美勝喜」は脂肪交雑<sup>※1</sup>に関して高い能力を有しており、平均枝肉成績において2頭ともBMSNo. 10.1と歴代県産種雄牛トップの成績である(表1)。
- ② 「幸紀陸」と「美勝喜」は、牛肉のおいしさに関連する「MUFA<sup>※2</sup>」の育種価ランクが「H」(評価牛1,442頭の上位10分の1以内)と、脂肪の質に関する高い能力を有している(表1)。

※1 脂肪交雑：筋肉(赤身)に入り込んだ脂肪の程度、霜降り度合。BMSナンバー(1~12)で表す。

※2 MUFA：一価不飽和脂肪酸。割合が高いと脂肪の融点が低くなり、脂肪の“ロどけ”に大きな影響を与える。

表1 産子の枝肉成績

	頭数	出荷月齢 (月)	枝肉重量 (kg)	ロース芯面積 (cm <sup>2</sup> )	バラ厚さ (cm)	皮下脂肪厚 (cm)	推定歩留 (%)	脂肪交雑* (BMS No.)	肉質等級 4・5割合	MUFA* 育種価ランク
幸紀陸	21 (去勢12、雌9)	30.5 ±0.9	475 ±60	66.6 ±8.7	7.4 ±1.1	2.9 ±1.0	74.5 ±1.8	10.1 ±2.1	95%	H
美勝喜	11 (去勢8、雌3)	30.3 ±0.7	456 ±82	63.1 ±15.3	8.1 ±1.3	2.4 ±0.7	75.2 ±2.0	10.1 ±2.6	91%	H



図1 幸紀陸



図2 「幸紀陸」産子のロース断面



図3 美勝喜

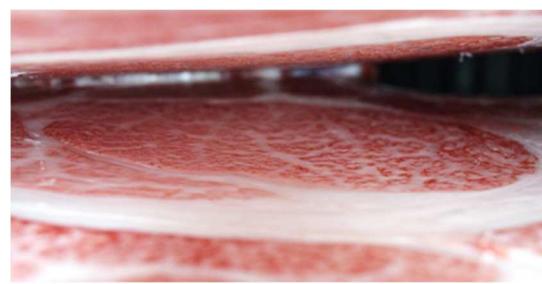


図4 「美勝喜」産子のロース断面

問い合わせ先：家畜改良部 TEL:0233-23-8815 e-mail:ychikusanken@pref.yamagata.jp